

広島県立東高等学校 図書館の取組について

本校は広島県立福山誠之館高等学校通信制課程から独立して今年で30周年の節目を迎え、図書館を生徒が集いやすい魅力的な空間とするべく取組をしています。

例えば教職員が協力して、長期間読まれていない本と判断した図書は逐次廃棄処分にし、残った図書・新しく購入した図書はNDCの分類を基本にしつつ再度レイアウトを考え配架しました。

また、生徒にとって興味・関心があると思われる図書については、生徒の目につきやすいよう配架するなどの工夫をしています。

本校は通信制高校であり、スクーリング日のみ図書室を開放していますが、目につきやすいところに配架しなおしたことにより、それらの図書を読んでいる生徒の姿をよく見かけるようになったのが成果です。

工夫した点

- ① 数十年以上前に購入した本のうち、現在の本校生徒が長期間読んでいないと判断した図書は廃棄処分にする。
- ② 配架方法についてはNDCを基本に配架する。
- ③ 生徒にとって興味・関心があると思われる図書は、生徒の目につきやすいところに配架する。

